

Sarabetsu

祭りと花火と、
子どもたちの夏

今月の主な内容

- ◆ 子どもたちの夏まつり P 2 ~ 3
- ◆ スーパービレッジ 構想 P 4 ~ 6
- ◆ 総合健診を実施します P 12
- ◆ 村のわだい P 14 ~ 15
- ◆ 村からのお知らせ P 16 ~ 17

表紙の風景

7月25日、上更別小学校では花火・あんどん祭りが開催されました。PTAの皆さんによる出店や子どもたちが思いを込めて作ったあんどんが設置。最後には打ち上げ花火が上げられ、歓声が上がりました。

子どもたちの夏まつり

7月4日に認定こども園上更別幼稚園七夕まつり、11日に更別幼稚園夏まつり、25日には上更別小学校で花火・あんどんまつりが行われました。保護者が準備した遊びコーナーや出店、また打ち上げ花火が用意され、子どもたちは元気いっぱい、笑顔いっぱいに夏のおまつりを楽しみました。

7/4 上更別幼稚園七夕まつり



7/11 更別幼稚園夏まつり



7/25 上更別小学校 花火・あんどんまつり



笑顔はじける！園児たちの運動会

6月28日に更別幼稚園運動会、7月12日にはどんぐり保育園生活と運動あそび会が行われました。園児たちは元気いっぱいに駆け回り、ときにはお友達と、そしてお父さん、お母さんと力を合わせて取り組み、笑顔いっぱいに。そのひたむきな姿に大人たちは大きな拍手を送っていました。

7/12 どんぐり保育園 生活と運動あそび会



8月21日、22日 出張買取行きます

更別村リサイクルプラットフォームがサービス開始!

大型家具・家電・タイヤ・ホイールなどをご自宅まで買取に行きます!

デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、大型家具等の買取について「LINE」を使用する「更別村リサイクルプラットフォーム」のサービスを開始します。

このサービスの開始によってこれまで大型ごみの巡回収集や、店舗まで買取のために持ち込んでいた大型家具・家電・タイヤ・ホイールなどをLINE上で「買取金額の査定」から「出張買取の申し込み」まで行えるようになります。

また、更別村リサイクルプラットフォームのサービス開始に合わせて、出張買取を実施します。LINE上で事前に査定から申し込みまでを完了し、買取可能となった場合は、**8月21日(木)と22日(金)**の2日間に出張買取を行います。

スーパービレッジ構想
100歳までワクワク
世代を超えてみんなつながり合う
幸せな地域 更別村
SBIS

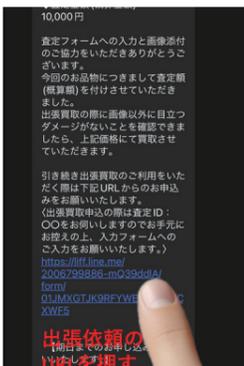
出張買取申し込み手順

受付期間は8月3日から20日まで

- 1 LINEアプリの「QRコードスキャン」機能よりSKB合同会社公式アカウントを友だち追加します。
- 2 お友だち追加後、トーク画面を開き、買取依頼ボタンをタップします。
- 3 LINE査定申込フォームから買取依頼するリサイクル品の画像を任意の方法で選択します。
- 4 選択後、画面に沿って追加、送信する順でタップして画像を送信します。



- 5 画像を送信後、査定IDと査定金額、出張依頼の申込リンクが届くので、リンクをタップし申込入力します。
- 6 5までの作業が完了すると後日最終確認の電話があります。問題がなければ手続完了です。
- 7 買取の場合は、ビックバン(株)オカモトが2日間にわたって村内全域を回りますので、リサイクル品は玄関前に出してください。



注意

- SKB合同会社公式LINEアカウントと更別村公式LINEアカウントは別物です。
- 右記の買取可能、不可のリサイクル品は一例ですので、ご不明なリサイクル品は買取依頼をお試しください。



●このページの問い合わせ
企画政策課政策調整係
スーパービレッジ担当 ☎ 52-5252

●更別村リサイクルプラットフォームサービスに関する問い合わせ
Social Knowledge Bank合同会社 (ソーシャル ナレッジ バンク)
☎ 65-0366 ☎ 070-8916-6420

車両位置情報公開サービスを開始

スーパービレッジ構想
100歳までワクワク
世代を超えてみんなつながり合う
幸せな地域 更別村
SBIS

デジタル田園都市国家構想交付金を活用して構築した「車両位置情報公開サービス」を**8月25日**から運用開始します。

このサービス開始により、インターネット上で各車両の現在位置が確認できるようになります。位置情報を確認できる車両は、**村民バス・スクールバス(村運行)、さらクル車両・自動運転車両(Social Knowledge Bank 合同会社 運行)です。**

各車両の現在位置については、ひやくワクポータルサイトの本サービス紹介ページからご確認ください。

なお、当初設定しているURLについては、下記の二次元バーコードを読み取ることでご確認ください。お気に入り登録やブックマークしてご利用ください。

(注意) URLは変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

ポータルサイト



村民バス



さらクル車両



自動運転車両



スマートフォン画面イメージ (村民バス)

画面の見方

- 一度通った経路は青色に着色されます。
- 現在位置は丸の数字に矢印がついているマークが目印で、矢印の向きが進行方向です。

※位置情報は数分に1回更新されるため、ご覧いただいている場所を過ぎていたことが想定されますので、表示位置は参考位置情報としてご覧ください。

スクールバスの車両位置情報について



スクールバスは、乗車する生徒や児童らの保安上の理由により保護者等の関係者のみが車両位置情報サービスをご利用いただくことができ、URLは教育委員会を通じてお知らせします。

なお、今年度のスクールバスでの運用については、試験的に行います。

●車両位置情報公開サービスに関する問い合わせ
Social Knowledge Bank合同会社 (ソーシャル ナレッジ バンク)
☎ 65-0366 ☎ 070-8916-6420

●このページの問い合わせ
企画政策課政策調整係
スーパービレッジ担当 ☎ 52-5252

どんぐりスタンプ 『デジタル化』 はじまります!

住民ID発行
受付中!

令和7年 10/1 (水) サービス提供開始!

※ご利用には、「更別ベーシックインフラサービス (SBIS)」への登録 (住民ID発行) と「どんぐりポイント利用登録」が必要です。
※登録時にマイナンバーカードをご用意いただくと一部入力内容を省略できます。



どんぐりポイント
利用に必要な
住民ID発行は
こちらから!

●サービス提供 (加盟店でのポイント付与・利用) の開始は令和7年 **10月1日** からとなります。

●問い合わせ
Social Knowledge Bank 合同会社
☎ 65-0366 ☎ 070-8916-6420
企画政策課政策調整係スーパービレッジ担当
☎ 52-5252 FAX 52-2812
どんぐりスタンプ会 (更別村商工会内)
☎ 52-2010

letter from Takeshi

村長室 だより

NO.102



多くの意見・要望を村政に!

18年ぶりに北海道消防操法訓練大会へ出場し、大健闘!!

7月18日、江別市にある北海道消防学校を会場に開催された「令和7年度北海道消防操法訓練大会」に本村としては実に18年ぶりに十勝の代表として、更別消防団が、同じく十勝代表である新得消防団と共に出場してきました。この大会は、北海道、公益財団法人北海道消防協会が主催する大会で、道内各地から選出された消防団が、火災等における消火活動に使用する消防ポンプ消防操法訓練成果を競うものです。今年は今道各地から12の精鋭が参加しました。消防操法には、消防用器具操法、消防ポンプ操法、はしご自動車操法等がありますが、今回は、消防ポンプ操法のうち、持ち運びが可能な小型動力ポンプを使用した競技となります。この競技は、「規律、節度」「敏しように」「確実な動作」「安全性」「チームワーク」が審査要点となります。また、一人ひとりの隊員の動作がきめ細かくマニュアルに定められていて、かなり緻密な隊員同士の連携と手順を踏まえた正確な動作が要求されます。大会に先立つ6月9日に

～子どもからお年寄りまで
笑顔と笑い声があふれ、
一人ひとりが輝く村～

7月3日に、本村の友好姉妹都市である東松島市から渥美市長はじめ石森議長含む新人議員さん、職員の方々の総勢11名の方々が来村されました。写真撮影後、村内の視察・見学で福祉の里総合センター、ふるさと館でロボトラに試乗し、ドローンの農業散布を見学。十勝スピードウェイでは、村福祉バスでのコース走行体験を行い、最後は道の駅さらべつでお土産を購入いただきました。あさひ食堂での懇親会では、地元食材による食事を囲みながら歓談し、今後も交流を深めていくことを確認しました。

友好姉妹都市「東松島市」 渥美市長らが表敬訪問

は、社会福祉センター大ホールにて結団式が挙行され、今井智裕班長 (指揮者) 佐々木陸人団員、河瀬友明団員、高橋洋平団員、補助隊員として西川治臣団員、予備隊員として野矢護司班長、安村雅俊団員の7名の出場選手が出席、代表して、同隊を指揮する今井班長から「更別消防団の伝統を引き継ぎ、大会に向け訓練を続けていく」との力強い決意が述べられ、小川誠二消防団長からも熱い激励の言葉がありました。出場団員は、7人中4人が農業従事者であるため、年明け間もない2月から地道な屋内練習を積み重ねてきました。7月6日には、これまでの訓練の成果の一端が消防署前で披露され、本大会に向けての熱い激励となりました。7月18日、いよいよ全道の精鋭達との訓練の成果を競う大会本番の日を迎えました。更別消防団は、全体の3番目に出場。大会独特の雰囲気や強い緊張感を伴う中、遺憾なくこれまでの訓練の成果を発揮し、大活躍してくれました。ここに更別消防団あり! の気概を見せていただき、大変誇りに思いました。出場隊員の皆さんや応援に駆けつけた団員の皆さん本村にお疲れ様でした。

更別消防団

北海道消防 操法訓練大会

に出場!!

令和7年7月18日に江別市の北海道消防学校にて開催された「令和7年度北海道消防操法訓練大会」小型ポンプの部に更別消防団から7名 (予備隊員を含む) の隊員が出場しました。出場隊員は、2月から訓練を開始し、農繁期にも関わらず、延べ46日間の訓練を経てこの大会に臨みました。



農村地区と上更別市街地区の皆さん 光回線利用状況を確認させてください

ご協力を
お願いします!

●目的

令和4年にサービス開始した農村地区における光ファイバー回線について、国の補助金を活用した事業であることから、現在の普及率等を確認する「事後評価」を国に対して行う必要があります。その基礎となるアンケートへの回答にご協力をお願いします。

●アンケートの回答

アンケートは下記二次元コードを読み取りご回答ください。(所要時間は5分から10分程度)
※二次元コードの読み取りが難しい場合は、広報さらべつ8月号に折り込まれていますアンケート用紙にてご回答いただき、FAXや直接持ち込みなどによりご提出ください。
※アンケートのご回答には回答者の把握のため、ご氏名と行政区の記載をお願いします。

●注意事項

全世帯のご回答が必要となりますので、**親子で別世帯としてのご家庭等は、それぞれの世帯でのご回答**をお願いします。



アンケートフォーム

アンケート実施主体：更別村
NTT 東日本

●問い合わせ
企画政策課政策調整係スーパービレッジ担当
☎ 52-5252 FAX 52-2812



マイマイガにご注意を



村内において、マイマイガの発生が確認されています。幼虫や成虫に直接触れると皮膚がかぶれたり、発疹が出る場合がありますのでご注意ください。また、外壁などに産み付けられた卵をそのままにしておくと、翌年の大量発生に繋がりますので、被害を防ぐためにも卵か幼虫のうちに駆除することが大切です。

●駆除のしかた：卵塊

- ・マイマイガの卵は樹木や外壁に産み付けられ、鱗毛で覆われています。
- ・1つの卵塊あたりの卵数は300～600個のため、越冬すると翌年は爆発的に増えることになります。
- ・半分に切ったペットボトルや先が平らなヘラなどではがし、集めて処分してください。洗い落とすだけでは駆除できません。



卵塊



除去のようす

●駆除のしかた：幼虫

- ・殺虫剤をかけるか、捕まえて水と少量の家庭用洗剤を入れたバケツで溺死させます。
- ・孵化直後で卵塊上にまとまっている場合は、ガムテープを貼り付けて取り除くのが効果的です。

●駆除のしかた：成虫

- ・成虫になると効果的な駆除方法がなく、殺虫剤の効果が弱い場合があります。
- ・照明の消灯や誘虫性が低いとされる光源(LED灯)に交換することで、近くの樹木や外壁への産卵を防ぐことができます。※防犯面を十分考慮した上で実施してください。

●注意事項

- ・駆除を行う際は、鱗毛が舞い上がることがありますので、吸い込んだり目に入ったりするのを防ぐため、マスク・ゴーグル・手袋などを着用してください。

●駆除したマイマイガは燃やせるごみに出すか、土に埋めて処分してください。

●高圧洗浄機の無料貸出について

- ・幼虫や成虫を水で落として捕獲するための高圧洗浄機を無料でお貸ししますので、お申し付けください。
- ・貸出期間は借用日の翌開庁日の17時までです。

●問い合わせ

住民生活課住民生活係 ☎ 52-2112

●ゲートキーパーとは？

悩みを抱えている人に気づき、声をかけ、話を聞き必要な支援に繋げ、見守る人のことです。特別な資格はなく、誰でもゲートキーパーになることができます。

●本講座で学べること

十勝の現状や、ゲートキーパーの役割についてお伝えします。家族や職場の仲間など、大切なひとの命を守るための方法について学んでみませんか？

9/19 開催 更別村 ゲートキーパー 養成講座

【日時】 令和7年9月19日(金)
18:30～20:00(受付18:00～)

【講師】 帯広厚生病院
臨床心理士/公認心理師 ちくだ まさあき 氏 築田 昌明 氏

【場所】 更別村老人保健福祉センター
集会娛樂室

【参加料】 無料

【申込方法】 保健福祉課へ電話またはWebフォームにて受付
9月18日(木)までに申し込みください。



申込 Web フォーム
はこちら

●問い合わせ

保健福祉課保健推進係 ☎ 53-3000



ヒグマによる 被害を防ぐために

ヒグマの活動が活発化しており、道内全域においてヒグマの出没が相次いでいます。本村でも多数の目撃などの報告が急増しているほか、7月には、道南の福島町でヒグマによる人身事故が発生しています。

ヒグマとの遭遇を避け被害を防ぐには、防災無線などの出沒情報に注意するとともに、ヒグマ被害に遭わないための対策が大切です。

ヒグマ被害の防止対策

●誘引物の管理

- ・生ごみなど匂いの強いものは野外に放置せず、ごみ出しのルールを守りましょう。

●周辺環境の管理

- ・家、農地などの周囲で刈り払いや草刈りを行い、ヒグマが身を隠す場所を取り除きましょう。

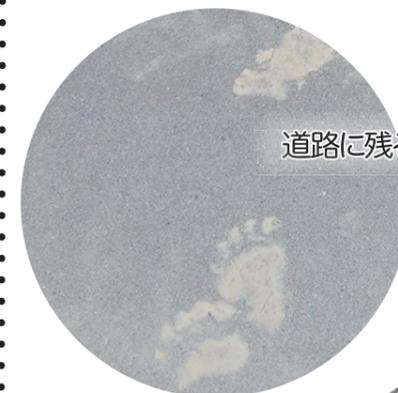
●ハイキングや山菜取りなどでヒグマと出合わないためには

- ・ヒグマの活動が活発になる早朝や夕方の時間帯や濃霧や雨の時はヒグマが人に気づきにくいいため、活動を避けましょう。
- ・ヒグマは音や匂いに敏感です。クマ鈴などの音の出るものを身につけたり、見通しの悪い場所では手を叩いたりホイッスルを鳴らすほか、2人以上でおしゃべりするなど、人間の存在を知らせましょう。ほとんどの場合、ヒグマは人の接近を知って逃げていきます。
- ・出かける前に、市町村や森林管理機関、所管の警察署などで現地のヒグマ出沒状況を確認しましょう。出沒情報のある地域や看板がある場所への立ち入りは避けてください。



通報は安全が確保されてから

- ・ヒグマの足跡やフンなどの痕跡を見つけたら、近くにヒグマが潜んでいる可能性がありますので、安全を確保するために引き返し、役場または警察に連絡してください。



道路に残るヒグマの足跡



ぬかるんだ畑に残るヒグマの足跡



草地横に残るフン

ヒグマを目撃したとき

- ・ヒグマを刺激しないことが何より重要です。まず落ちついてゆっくりと後退してヒグマから目を離さず、その場から離れましょう。走ったり、背中を向けないようにしましょう。
- ・子グマだけでも絶対に近づかないでください。物陰から母グマが子グマを守ろうと攻撃してくる可能性があります。

●問い合わせ

産業課農業振興係 ☎ 52-2115

「経営継承」をお考えの 経営主の方は お早目に農業委員会へ相談を

農業経営を後継者や第三者へ継承するときには、農地の処分（売買・贈与・賃貸借・使用貸借など）が必要です。

農地を処分するには、農地法の許可や借入している農地の解約・利用権の移転などの手続きが必要で、準備に時間を要します。

また、農業者年金新制度の特例付加年金の受給には、旧制度の経営移譲年金と異なり経営の継承年齢に制限はありませんが、新しい経営主へスムーズに経営継承するためにも、お早めに農業委員会へご相談ください。



●問い合わせ

農業委員会事務局 ☎52-2116



おたふくかぜ 予防接種について

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）は、ムンプスウイルスにより感染し、潜伏期間は2～3週間で、発熱や頭痛、耳下腺の腫れなどの症状がでます。

腫れは7～10日で軽快しますが、無菌性髄膜炎、精巣炎、卵巣炎などの合併症や、難聴などの後遺症により日常生活に影響を及ぼすことがあります。おたふく難聴にかかると治療法がないため、予防接種で免疫をつけておくことが重要です。任意接種になりますが、村で費用助成をしていますので、積極的な接種をおすすめします。特に小学生の方に接種忘れが多く見られますので、今一度、母子健康手帳をご確認ください。

◆対象者は1歳から12歳（小学6年生まで）の村民

◆接種回数は2回

◆予約先

国保診療所 ☎52-2301

※3日前の月曜日（月曜日が祝日の時は前週の金曜日）までに予約

●問い合わせ

子育て応援課母子保健係 ☎53-3700

接種日は
毎週木曜日
13:30-14:00
16:00-16:30

総合誌「さらべつ」の 原稿を募集しています

毎年3月に発行している総合誌「さらべつ」の原稿を9月26日（金）まで募集中です。

●応募資格

- ・更別村に住んでいる方
- ・過去に更別村に住んでいた方
- ・更別村にゆかりのある方

●募集作品

- ・提言、文芸作品（小説、詩、俳句、随筆など）
- ・芸術作品（書道、絵画、写真など）
- ・腕自慢（農作物、家畜、手作り品など）
- ・更別にまつわるお話（昔話、回顧録、歴史など）
- ・その他（旅行記、生活記録など）

※文面以外の作品は写真での出展となります。

※短い文章、旅行記、随筆などでもかまいません。

●応募方法

原稿は教育委員会事務局指定の原稿用紙またはワードなどのデータで、住所・氏名を明記し、ペンネームの場合はその旨を付記して提出ください。

※原稿は返却することができませんので、あらかじめご了承ください。



更別村文化賞・スポーツ賞等 候補者の推薦について

教育委員会事務局では、皆さんから推薦のあった個人や団体へ文化賞・スポーツ賞などを贈り、功績を讃えています。皆さんからの推薦をお待ちしています。

●表彰内容

◆文化賞・スポーツ賞

文化・スポーツの向上発展に、特に功績が顕著であると認められる個人や団体

◆文化奨励賞・スポーツ奨励賞

各種団体の育成普及推進に寄与した方や大会などでの成績が優秀と認められる個人や団体

●推薦対象期間（大会等の成績や評価）

令和6年10月1日～令和7年9月30日

●受賞候補者の推薦

9月8日（月）までに「文化賞・スポーツ賞等候補者推薦書」を教育委員会事務局まで提出してください。

※推薦書は同事務局に用意しています。

●問い合わせ

教育委員会社会教育係 ☎52-3171

【令和7年の支給月一覧】

支給月	支給対象月
1月	11月～12月分
3月	1月～2月分
5月	3月～4月分
7月	5月～6月分
9月	7月～8月分
11月	9月～10月分

【令和7年度の支給額】

子どもの人数	支給額
1人の場合	【全部支給】 46,690円 【一部支給】 11,010円～46,680円 (所得に応じて決定)
2人目以降の加算額 (1人につき)	【全部支給】 11,030円 【一部支給】 5,520円～11,020円 (所得に応じて決定)



児童扶養手当の支給要件、所得要件などの詳細は村ホームページをご確認ください。

児童扶養手当 特別児童扶養手当のお知らせ

●支給額について
手当の額は障がい児の障がい等級と人数に応じて支給されます。

等級	一人あたりの 手当額（月額）
1級	56,800円
2級	37,830円

●児童扶養手当とは
父母の離婚などで、父または母と生計を同じくしていない子どもが養育される家庭（ひとり親家庭）の生活の安定と自立の促進、また、子どもの福祉の増進を図ることを目的に支給される手当です（支給には要件や所得制限があります）。

●支給月について

支給月は奇数月です。（年6回、支給月の前2か月分）

●手続きについて

手当を受けるには、必要書類を提出し、北海道知事の認定を受ける必要があります。申請方法については、子育て応援課へお問合せください。

●現況届について

8月は児童扶養手当現況届の提出月です。児童扶養手当を受けるためには、毎年8月中に児童手当現況届の提出が必要です。該当の方には郵送にてご案内致しますが、提出がない場合には手当の一部または全部が停止される場合がありますので、ご注意ください。

●受給資格者

精神または身体に障がいがある20歳未満の子どもを育てている父もしくは母または父母にかわって児童を養育している方です。ただし、子どもが施設に入所している場合や障がいによる年金を受給できる場合は、手当を受けられません。

●支給月について

支給月は、4月、8月、11月の年3回です。



特別児童扶養手当の支給要件、所得要件などの詳細は村ホームページをご確認ください。

●手続きについて

手当を受けるには、児童扶養手当と同様に、必要書類を提出し、北海道知事の認定を受ける必要があります。申請方法については、子育て応援課へお問合せください。

●所得状況届について

8月～9月は所得状況届の提出月です。該当する方には郵送にてご案内します。

●児童扶養手当・特別児童扶養手当申請・問い合わせ

子育て応援課子育て応援係（福祉の里総合センター内）☎53-3700

令和7年度 脳ドックのご案内

●日程

実施月日	時間	人数	実施月日	時間	人数	実施月日	時間	人数
11月17日(月)	8:30～	1人	12月4日(木)	8:30～	2人	1月7日(水)	8:30～	1人
11月19日(水)	12:15～	2人	12月9日(火)	8:30～	1人	1月15日(木)	8:30～	1人
11月26日(水)	8:30～	2人	12月15日(月)	12:15～	2人	1月21日(水)	8:30～	1人
						1月29日(木)	12:15～	2人

●対象者

40歳以上の方

※人間ドック、総合健診、高齢者健診を受診される方は対象外です。

※手術などにより、体内に金属(インプラントを含む)が入っている方は、事前に主治医へご確認ください。
(受けることができない場合があります)

●検査内容

- ・MRI 検査(磁気による脳の断面撮影検査)
- ・MRA 検査(造影剤を使用せずに磁気による脳の血管を撮影する検査)
- ・頸動脈エコー検査、心電図検査、眼底検査、血液検査、尿検査、問診、血圧測定、腹囲測定、医師診断
保健指導

●検査料金

12,000円(村助成後の金額)

・脳ドック当日、北斗病院へ直接お支払いください。

●検査機関

北斗病院(帯広市稲田町基線7番地5)

- ・各自、北斗病院検診センターへ出向いてください。
- ・受付時間は午前が 8:30～8:45
午後が 12:15～12:30 です。
- ・所要時間は、2時間半から3時間半程度です。

●申し込み

Web 申込フォームまたは電話にてお申し込みください。

※申し込みの締め切りは受診希望日の1カ月前までです。

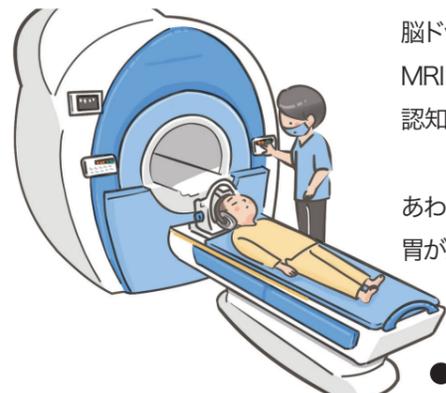
※枠に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

申込フォームはこちら
申込開始は 8/12 から



国民健康保険加入者(特定健診対象者)には問診等にご協力いただくため、脳ドック受診日以降、村保健師よりご連絡いたします。

それ以外の方でも、結果により村保健師・栄養士からご連絡することがあります。



脳ドックは、脳卒中や脳萎縮といった脳疾患リスクを早期発見するために、MRIや血液検査など、さまざまな方法で調べる検診です。また、簡単な認知機能を調べる検査も行っています。

あわせて、村で実施するがん検診の受診をおすすめします。

胃がん・肺がん検診：令和8年2月18日(水)

●申し込み・問い合わせ 保健福祉課保健推進係 ☎ 53 - 3000

総合健診を実施します！

●日程 10月28日(火)、29日(水)、30日(木)、31日(金) 12月8日(月)、9日(火)

●受付時間 午前7時00分～午前11時00分(30分刻みの予約制)

●場所 老人保健福祉センター

- 対象者
- ①国民健康保険に加入されている今年度に19～74歳となる方
 - ②国民健康保険以外の19～39歳の方(事業所健診を受診される方は対象外です)
 - ③今年度に75歳以上となる方で、国保診療所の「高齢者健診」に申し込みをしていない方(高齢者健診を受診される方は、胃がん検診のみ受けられます)
 - ④国民健康保険以外の方で、今年度中に40～74歳となる方
- ※人間ドックを受けられる方は対象外です。
※北斗病院の「脳ドック」を申し込みの方は、がん検診のみ受けられます。

10月28日、29日の10時00分～11時00分は託児があります。ご希望の方は申し込み時にお知らせください。

●検査内容と料金表

検査内容	自己負担額		
	対象者①②	対象者③	対象者④
基本健康診査 計測(身長・体重・腹囲)、尿検査、問診、血圧測定、血液検査、心電図検査、診察、眼底検査(該当者)	2,000円	700円	7,150円
がん検診 肺がん検診(30歳以上 胸部X線撮影・結核検診)	500円	無料	500円
胃がん検診(30歳以上 胃バリウム検査) ※飲食していなければ当日も申し込みができます。	1,700円	500円	1,700円
大腸がん検診(30歳以上 便潜血反応2日法)	500円	100円	500円
オプション ピロリ菌検査(30歳以上で過去に検査を受けたことのない方)	600円		
B型肝炎検査・C型肝炎検査 (40歳以上で過去に検査を受けたことのない方、既往のない方)	各500円		
前立腺がん検診(50歳以上の男性)	800円		
エキノコックス症検診 (前回の検査から5年以上経過、または1度も受けたことのない方)	600円		
喀痰検査(40歳以上で検査が必要と判断された方)	900円		



お申し込みはWEBで！

申込フォームはこちら！
申込開始は8/18から



総合健診のお申し込みには、インターネットを利用したWEB申込も利用できます。

ご自宅で、簡単にお申し込みできますので、この機会にぜひご利用ください。

完全予約制のため、事前申し込みが必要となります。申し込みをしていない方には、総合健診の案内・問診票の送付はありませんので、ご注意ください。検査項目や内容、託児に関してご不明な点がある方は、保健福祉課までご連絡ください。なお、予約の変更をしたい場合もご連絡ください(希望の時間とならない場合もありますのでご了承ください)。

●申し込み・問い合わせ 保健福祉課保健推進係 ☎ 53 - 3000



7/15 恒久平和を願い
戦没者追悼式を開催

戦没者の在りし日を思い浮かべ、ご冥福を祈ると共に恒久平和の誓いを新たにするため、村戦没者追悼式が社会福祉センター大ホールで行われました。西山村長が式辞で戦没者への追悼と今後の平和への誓いを述べ、村遺族会佐藤義典会長が「悲惨な戦争が繰り返されないよう願い、豊かな郷土の発展に尽くします」と追悼の意を述べました。続いて、48柱の戦没者へ献花が送られました。追悼式後は、更別神社境内の殉公碑前を会場に村遺族会主催の慰霊祭が行われました。



7/2 うどんは飲み物
うどん早食い大会が開催

どんぐり推進部主催のうどん早食い大会がふるさと館で開催され、19名（うち女性4名）が参加しました。ルールは制限時間10分以内にうどん（男性は1kg、女性は0.45kg）を完食するタイムを競い合うもので、懸命にうどんを口に運ぶ参加者に会場から大きな声援が上がり白熱しました。女性の参加者が多かった今回は女子の部を設けられ、2分46秒で完食した小室聡子さんが初代女王の座に輝きました。また、男子の部では3分32秒で完食した神谷祐希さんが優勝しました。



7月11日、役場前駐車場を会場に商工会青年部（為廣 拓部長）による『商工会青年部ビアガーデン』が行われました。当日は気温が上がらない中、村内外から家族や職場などで多くの方が来場。商工会青年部の出店のほか、JAさらべつ青年部やさらべつ産業振興公社のほか3台のキッチンカーが出店し、焼き鳥やケバブ、ポテトなどを販売し、会場は活気にあふれ、寒さが吹き飛ばすほどの賑わいを見せていました。また、ビアガーデン締めめのメインイベント『お楽しみ抽選会』ではさらべつ産うどんやどんぐりのむらポテトチップス、さらべつふるえーるなどの抽選が行われ、当選した方はガッツポーズをするなど喜びを爆発させ、大いに盛り上がりました。為廣部長は「本日は多くの方のご参加ありがとうございます。今後も青年部として村を盛り上げていきますのでよろしくお祈りします」とお礼の挨拶を述べました。



7/24 他校・企業と連携した取り組み
更高中生がシンポジウムで発表

帯広信用金庫中央支店のセミナールームを会場に、北海道教育委員会主催の「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」の産学連携シンポジウムが開かれ、道東の拠点校として指定されている更別農業高校の生活科学科の安田恋音さんが産学連携の取り組みについて発表を行いました。安田さんは、地元企業と連携してレトルトカレーを製造した事例や、旭川工業高校との学校・学科を越えた交流では、食品加工とドローン技術の連携した事例などを挙げ、「外部との連携により専門性が飛躍的に向上し、学びが実際の社会に繋がっていることを実感した」と発表しました。



7/17 将来の夢を考えるきっかけに
更中で AIRDO 航空教室

更別中央中学校で、株式会社 AIRDO 主催の生徒たちの将来の夢を考えるきっかけ作りなどを目的とした、AIRDO 航空教室が開催されました。授業では、実際に勤務されている整備士の柳田俊哉さん、キャビンアテンダントの矢野佐也加さん、パイロットの杉山侑平さんが講師となり、仕事の内容ややりがいを語り、生徒たちは飛行機が飛び仕組みを学ぶほか、機内アナウンス体験も行われました。生徒会長の太田佳来さんは「安全運行への意識の高さが印象的。航空業界について学びたい機会となりました」と話しました。



7/1 小麦の学習で地域を知ろう
中学生がスマート農業見学

7月1日、更別中央中学校の1年生（24名）が村内で栽培されている小麦やスマート農業を学ぶため、岡田農場（昭和区）と更別農業高校を見学。この学習は総合的な学習の一環で数年前から実施されています。生徒たちは、実際の畑で活用されているドローンの説明を受け、ドローンで撮影された上空からの畑の分析映像などをタブレットで確認しました。また、更別農業高校では、研究のために植えられた古代穀物のスペルト小麦の説明を受け学びを深めました。



6/30 国際教育を学ぶ
中学生が留学生と交流

高校生の交換留学を手がけている公益社団法人 AFS 日本協会十勝支部の声かけで、帯広市内の高校に通うアビー・カレーニョさん（アルゼンチン）と同じく帯広市内の高校に通うアラニス・レーブさん（スイス）が更別中央中学校を訪問。お互いに住んでいるまちなどを紹介したあと、簡単なゲームや質問を出し合って交流を楽しみました。交流を楽しんだ生徒からは「コミュニケーション取れたことがとても面白かった。もっと交流できたら嬉しい」と話してくれました。

村からのお知らせ

Information from the Village



各種アイコンの説明

📣 = お知らせ 🏠 = 健康・福祉 👤 = 募集 💰 = 税金 📄 = 国民年金

📅 とき 📍 場所 🎯 対象 💰 料金 📄 定員 📝 申し込み 🗨️ 問い合わせ
☎️ 電話番号 📠 ファクス 📧 メールアドレス

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。
※ハガキは3か月ごとに広報紙へ折り込みしています。

募集 自衛官の募集のお知らせ

募集種目	応募資格	受付期間	試験日
一般曹候補生 (第2回)	18歳以上 33歳未満の方 (32歳の方は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない方)	7月1日(火)～ 9月2日(火)	1次 9月17日(水) または18日(木) の指定する日 2次 10月15日(水) または16日(木) の指定する日
自衛官候補生			男子 9月26日(金) または27日(土) の指定する日 女子 9月28日(日)
防衛 大学校 学生	推薦 総合 選抜	9月5日(金)～ 9月9日(火)	9月20日(土) 21日(日)
			1次 9月20日(土) 2次 10月25日(土) 26日(日)
	一般	7月1日(火)～ 10月16日(木)	1次 11月1日(土) 2次 11月29日(土) ～12月3日(水) のうち指定する日
防衛医科 大学校 医学科学生	18歳以上 21歳未満の方 ※高卒者(見込含) または高専3学年 次修了者(見込含)	7月1日(火)～ 10月8日(水)	1次 10月25日(土) 2次 12月17日(水) ～19日(金) のうち指定する日
防衛医科 大学校 看護学科学生 (自衛官候補 看護学生)		7月1日(火)～ 10月3日(金)	1次 10月18日(土) 2次 12月6日(土) または7日(日)
予備 自衛官補 (第2回)	一般	18歳以上 52歳未満の方	9月13日(土)～ 9月29日(月) のうち指定する日
	技能	18歳以上で国家 免許資格等を有する 方(資格により 年齢上限は53歳 未満～55歳未満) ※詳しくはお問合 せください。	9月11日(木)

日本年金機構
ウェブサイト



ayleasy(ページー)対応)で納付する場合、ねんきんネットにログイン後、「利用者情報」↓「その他の便利機能を利用する」↓「保険料を納付する」から納付できます。
※収納機関番号(5桁)、納付番号(16桁)、確認番号(6桁)の入力が必要です。端末操作については、年金機構ホームページをご確認ください。

年金の相談・手続きの際は「ご予約をお願いします」
年金事務所では年金相談や年金請求手続き相談の事前予約を行っています。
年金請求に関する手続きについては、インターネットからの予約も可能ですので、お待たせ時間の少ない予約相談をぜひご利用ください。
※ご予約の際は、年金手帳等、基礎年金番号のわかる書類をご用意ください。
●ねんきんネットからの予約
●ねんきんネットにログインし、「その他の便利機能」↓「年金相談のご案内」から予約申込みが可能です、本人の年金番号や、

メールアドレス等の入力を省略できます。
●電話予約
予約受付専用電話
0570-054890
(ナビダイヤル)
※相談者、配偶者、請求者等の年金基礎番号が必要です、ナビダイヤルが利用できない場合
03-6631-7521
(一般電話)
●受付時間
月～金(平日)
8時30分～17時15分
●帯広年金事務所
役場住民生活課戸籍窓口係
☎️ 21-1511
☎️ 52-2112

税金

村税納期限のお知らせ

村・道民税第2期と国民健康保険税第2期の納期限は、9月1日(月)です。
納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。
☎️ 52-2112
住民生活課税務係

お知らせ

家畜商講習会を開催します

北海道による家畜商講習会が開催されます。講習を修了することで家畜商免許を取得できます。詳しくは産業課へお問い合わせください。
📅 11月13日(木)、14日(金)
9時00分～17時30分
📍 北海道第2水産ビル4S会議室(札幌市中央区北3条西7丁目)
🎯 家畜取引業務(売買・交換・あつせん)に従事しようとする方
📝 10月17日(金)まで
📞 講習手続
所定の願書(北海道のホームページからダウンロードするか十勝総合振興局から取り寄せ)を提出してください。

農作業に注意しましょう

繁忙期の農作業は、慣れた作業でも疲労の蓄積などで注意力が低下し、事故が起こりやすくなります。次の注意点を意識し、農作業事故を起こさないようにしましょう。
●適度な休憩や体調管理に注意しましょう。
●お互いに声をかけあいながら農作業を行いましょう。
📞 更別村農業経営・生産対策推進会議農業安全運動推進部(産業課農業振興係)
☎️ 52-2115

クールスポットを開設しています

熱中症を予防するため、一部公共施設を「クールスポット」として無料開放しています。お気軽にご利用ください。
●開放施設
① 社会福祉センター
7月16日～9月30日
9時00分～21時30分
② 農村環境改善センター
熱中症警戒情報発表期間中
9時00分～21時00分
●注意事項
・利用予約の入っていない部屋に限りご利用いただけます。
・ごみは各自でお持ち帰りください。

女性のための 人権なんでも相談室

法務局ではセクハラやDV、職場の男女差別など、人権に関する困りごとや心配事の相談所を開催しています。人権擁護委員が相談をお受けし、秘密は保護されます。
📅 9月12日 13時～15時30分
(受付は15時まで)
📍 とかちプラザ(帯広市西4条13丁目1)
🎯 女性の方
☎️ 無料
※事前予約は不要です。
📞 帯広人権擁護委員協議会
☎️ 24-5853

8月は「北方領土返還要求運動強調月間」です

我が国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島および択捉島からなる北方四島の早期返還の実現は、国民の永年にわたる悲願であります。
8月は、国「北方領土返還運動全国強調月間」、北海道の「北方領土返還要求運動強調月間」であり、全国各地で重点的に返還要求運動が実施されます。
北方領土問題を解決して平和条約を締結するという政府の方針を支え、後押しとなるように一人ひとりが取り組むことが大切です。
返還要求運動へのみなさまのご理解ご協力をお願いします。
☎️ 080-1886-9622
千島歯舞諸島居住者連盟十勝支部

国民年金

国民年金保険はねんきんネットです

ねんきんネットでは各月の納付状況を確認することが出来ます。納め忘れがあっても、納付書を使わず国民年金保険料を納付できます。
納付できる保険料は、前月分以前の保険料です。前納等当月以降の保険料は納付できません。

●納付の方法
インターネットバンキングを使用して
ねんきんネットへログインし、「保険料を納付する」「P ayleasy(ページー)で納付」から納付できます。
画面の遷移については、年金機構のホームページをご確認ください。
●金融機関に設置のATM(P

福祉の里温泉をご利用ください!

村ホームページ
『福祉の里温泉』
はこちら→



◆9月1日(月) 開村記念日 臨時開館・無料開放
福祉の里温泉は、9月1日(月)の開村記念日に臨時開館し、無料でご利用できます。
*対象
村内外すべての方
*開館時間
13時00分～22時00分(最終受付21時00分)
*利用方法
受付にて利用受付簿への記入をお願いします。
●問い合わせ 保健福祉課福祉係 ☎️ 53-3000



更農祭を終えて
 イベント運営委員会顧問 菊地 昭吾
 7月11日(金)、12日(土)に更農祭が開催されました。当日は青空でありながらも、暑すぎない過ごしやすい天気で、絶好の学校祭日和となりました。今年度から生徒会と農業クラブが統合して農生会となり、その組織の一部として「イベント運営委員会」が立ち上がり、学校祭を運営しました。今年度のテーマは「笑え！踊れ！輝け！」でした。言葉一つ一つが力強く、今を楽しもうとする更農生のワクワク感を表現しているこのテーマが採用されました。1日目の午前中は、オープニングセレモニーで、昨年度に引き続き、クラス紹介CMの上映、パフォーマンスが実施されました。クラス紹介CMは、どこもオリジナルティ溢れる映像で、2日目の一般公開でも上映

更別農業高校ニュース



野菜レーうどん 1杯300円 入れ放題の素揚げ
 されました。パフォーマンスはダンスを中心として、創意工夫された演技が披露されました。また、今年度はラオス共和国から中・高生が視察研修の一環で来校しました。国の文化の紹介後に、みんなで民族舞踊を踊り、異文化交流を行いました。有志発表も歌やバンド演奏など4組が出場し、盛り上がりしました。2日目は、各分会と1学年PTAが企画した模擬店が出店しました。本校の生産物を活用した商品を販売するなど、どの団体も創意工夫が見られました。お忙しいところお手伝いいただきました保護者の方々には本当に感謝しております。一般来場された保護者・更別村の皆様の支援のもと、無事に学校祭を開催することができました。厚く御礼申し上げます。

中学生が活躍！全道大会へ

卓球 まつの ななせ 松野 七星さん

7月5日に帯広市で開催された全十勝中学校夏季卓球大会の個人戦女子シングルスで3位入賞し、第55回北海道中学校卓球大会(8月1~3日・恵庭市)への出場を決めた札内卓球クラブの松野七星さん(更別中央)が7月24日に教育委員会を訪問し、宝輪祐子教育長に出場報告しました。松野さんは「全道大会の組み合わせで強い選手と当たるが、悔いがないように自分のプレイをして勝ちたい」と全道大会へ向けた抱負を述べ、宝輪教育長は「ぜひ卓球を楽しんで、自分の力を発揮してきてほしい」と激励しました。



更別中央中野球部

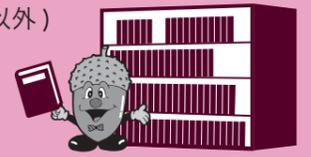
6月7~14日にかけて音更町などで開催された全十勝中学校春季軟式野球大会においてベスト4という優秀な成績を収め、第42回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント北海道大会への切符を手にした更別中央中野球部の皆さんが7月9日に教育委員会を訪問し、宝輪祐子教育長に出場報告しました。渡邊友希キャプテンは「十勝の代表という自覚を持って最後まで全力でプレイしたい」と全道大会への意気込みを話し、宝輪教育長は「自分の力を出し切って悔いのないように頑張ってきてほしい」と激励しました。



更別村農村環境改善センター図書室だより

本ごよみ

開館時間 9時30分~18時00分
 休館日 火曜日および祝日(日・月・土以外)
 住所 更別村字更別南2線96番地11
 農村環境改善センター内
 電話 52-3171



今月の展示

- 一般書コーナー 『スポーツの本』
- 児童書コーナー 『花火の絵本』 『防災の絵本』

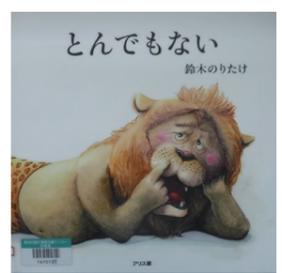


親子読み聞かせマラソン

図書室では、未就学児のお子さんを対象とした親子読み聞かせマラソンの参加者を募集しています。詳しくは図書室カウンターへお尋ねください。みなさまの挑戦をお待ちしています！

今月の読みきかせ

- 8月16日(土) 11時00分~11時30分
- 『とんでもない』
 - 『いっぽんみちをあるいていたら』



新着図書案内

えほん

- おふるひえてます (とよた かずひこ)
- あきらがあげて (ヨシタケ シンスケ)
- うるおほえ一家の おみせや (出口 かずみ)
- おにぎりばく! (はらべこめがね)
- ようかいむらの なんじゃどうぶつえん (たかい よしかず)
- ようかいむらの こぼれしおひがり (たかい よしかず)
- プリンちゃんの なつやすみ (なががわ ちひろ)
- ほっかいどう はじめての虫さがし (堀 繁久)
- ねこのケーキ屋さん(KORRII) シンデレラ(いもと ようこ)

今月のおすすめ本
 『食物アレルギーサバイバル』 飯野 晃 / 監修
 特定原材料を中心に食物アレルギーについてクイズ形式で学べる、子ども向けの1冊。



児童文学・学習書ほか

- みんなのプレート テクニクス (小田島 庸浩)
- そんな理由!! アレにもコレにも! モノのなまえ事典 (杉村 喜光)
- NO.6 再会#1 (あさの あつこ)
- 中高生のスポーツ(中高生のスポーツハローワーク 編集部)

文学・一般書

- 最新世界地図 令和新訂版 (金田 章裕)
- 北海道菜園レシピ(範囲 有紀)
- パンダ百科全書(張 志和)
- ステップアップ 北の家庭菜園 (有村 利治)
- はじめての北の家庭菜園(大宮 あゆみ)
- いのちの波止場 (南 杏子)
- ありが (瀬尾 まいこ)
- 祝祭のハンガマン (中山 七里)
- 父が牛飼いになった理由 (河崎 秋子)
- 潮音 第三巻 第四巻 (宮本 輝)
- ヒポクラテスの困惑 (中山 七里)
- 数学大図鑑 (カール・ワルシ)
- 読んでみよう! 教科書に出てくる名作500冊1~3年生 (栗原 浩美)
- 読んでみよう! 教科書に出てくる名作500冊4~6年生 (栗原 浩美)



戸籍の窓口

誕生おめでとう

お悔み申し上げます

地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録

207日(7月31日現在)

■地域安全運動のお知らせ

『夏休みやお盆の長距離運転について』

長距離運転するときは「渋滞情報を確認して時間に余裕を持つ」、「2時間に1度は休憩を取る」、「速度や車間距離に注意し、無理のない運転」などを心掛け、楽しい休日にしましょう。

声のテーブル 広聴ハガキをいただきました

福祉の里温泉について

Q1 サウナのテレビについて、NHK以外を選局することはできませんか？

Q2 露天風呂の日本庭園のメンテナンスはできないのでしょうか。草木が生い茂り、見栄えが悪く、ゆっくりにできません。

また、露天風呂にメンテナンスの必要がない人工芝を敷き、リラックシートを置いて、とこのえるように整備することで利用客が増えると思います。

日頃より福祉の里温泉をご利用いただき、貴重な

ご意見をありがとうございます。

A1 試験的にリモコンを設置しますので、譲り合ってお使いいただけますようお願いいたします。

A2 なお、室内環境によるリモコンの不具合やその他の問題が発生するときは、試験運用を終了しますのであらかじめご了承ください。

露天風呂の庭園について、不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。今後は衛生面での管理や心地良い空間となるよう、適宜状態を確認し、庭木の剪定作業を行います。

なお、人工芝やリラックシートの設置について、福祉の里温泉(老人保健福祉センター)は公衆浴場として運営しているため、当面設置予定はありませんが、今後も適切な管理運営に努めますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

●問い合わせ 保健福祉課福祉係 ☎53・30000

人の動き

2025年7月1日現在

※()内の数字は前月比



総人口 3,062人 (+7人)



男性 1,504人 (+2人)



女性 1,558人 (+5人)



世帯数 1,371世帯 (+4世帯)

